

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [赤穂市立赤穂西小学校] 担当教諭名 [司波 琢磨] (4年1組 11名)

相手国・地域 [ネパール]

海外学校名 [Azad Secondary School] 担当教諭名 [水越 久美子(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	心をつなごう 世界は一つ	35
	図工	壁画を描こう	6

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	地震からの復興～未来に向かって～
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	災害はいつでもどこで起こってもおかしくないものである。国の状況は違っても、命の尊さはかわらないものである。「地震が起こった直後」「そこからの復興」地震から守りたいものとして「学校・友達」「家族」をそれぞれが描いた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・英語学習に対する意欲が高まった。 ・阪神淡路大震災以後に生まれた子どもたちにとって、自分たちが住んでいる県について改めて学習するよい機会になった。 ・1枚の壁画を共同で作成することで、達成感を味わうことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの学習カリキュラムや行事がある中で、アートマイルの活動を確実に進めていくのが難しかった。 ・教師自身の英語力を高める必要を感じた。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・国によって学校の様子や文化、くらし方に違いがあることに気付いた。 ・自分の思いを相手に伝えるために、英語力をもっと身に付けたいと思うようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スカイプ交流やフォーラムを用いた動画・写真交流を行う中で、体験活動の重要性を感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	相手校や先生の情報を知る。 自己紹介動画を交換し合った。	学習した英語が役に立つということを実感することで、次への意欲をもつことができた。	総合4
共有 テーマ学習	10月 ～ 12月	「地震からの復興～未来に向かって」というテーマのもと、それぞれの地震の様子を動画で紹介した。	インターネットや本を使って調べたり、調べたことをどのように紹介するか考えたりと工夫が見られた。 生まれる前の阪神淡路大震災について知識を深めることができた。	総合20
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	1月	児童が調べたことをもとに下絵を作成したのち、相手校の先生と壁画デザインについて話し合った。	学習の成果をしっかりと作品に表現しようと協力して、デザインを考えることができた。	総合2
創造 壁画制作	2月	グループごとに調べた物を中心に色塗りを進める。	色のバランスや濃さについて何度も話し合いながら、制作活動を進めた。完成したものは保護者にも公開して、家庭でも褒めていただくことで、自己肯定感を高めることができた。	図工6
評価 振り返り 自己評価	3月	これまでの学習を振り返り、参観日にスカイプを使って交流を行う。	スカイプで交流することで、交流がさらに深まった。参観日に行うことで保護者にもその活動を見ていただくよい機会になった。	総合9

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とでもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	自分たちが住んでいる町について考えるよい機会となった。
異文化を理解する力	5	食べ物・宗教・習慣など日本とは違うものを紹介していただいた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	5	言葉で伝わらない部分を補おうと、絵や写真をどう使おうと子どもたち自身で考える機会になった。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	英語力が低く、互いに理解し合うということでは至らなかった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	児童だけでは難しい部分があり、教師側から見る視点や調べる視点を事前に示す必要があると感じた。
主体的に考え行動する力	5	どの活動も「自分たちで」という意識をもって、意欲的に取り組むことができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	学級内・また相手校とも協同で学習する力は高められた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	壁画・手紙など、どうやったら思いが伝わるか考え、行動することができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	5	「自己紹介」「共同学習」「作品づくり」と活動のたびに振り返りの時間を設けることで、しっかりと学習をまとめることができた。